

ビジネスにチャレンジ!



宇城市地域再生マネージャーとして 斉藤俊幸さんがやって来る!

関東学院大学非常勤講師／イング総合計画(株)代表取締役
●略歴：1955年・東京都生まれ／平成16年から荒尾市地域再生マネージャーとして赴任／「青研」「ありあけの里」「にんじん畑」など立ち上げ、新たな200人の雇用を創出／平成19年3月30日・荒尾市の実績が認められ、渡辺内閣府特命担当大臣から「地域活性化伝道師」に任命された

斉藤俊幸さんは、昨年まで3年間、荒尾市の地域再生マネージャーとして、荒尾市中央商店街の空き店舗に住み込み、商店街の人たちとまちなか研究室「青研」を設立し、みんなで議論して地元産の芋を使った「芋焼酎」や荒尾梨の「果実酢」などの新商品を開発されました。また、地元の農産物や加工品を販売する「青空市」や「商店街ワイナリー事業」は、住民の知恵と工夫による新ビジネスとして地域に定着してます。

今年度、総務省所管公益法人(財)地域総合整備財団が実施する「地域再生マネージャー事業」(全国で6地域が採択)に宇城市が採択されました。
この事業は、農林水産業・工業・商業が連携して、宇城市の農林水産物を活用した『ものづくり』に取り組み、これを新たなビジネスに結びつけて、雇用の創出と地域の活性化を図ろうとするものです。地域再生マネージャーは、地域住民の活動拠点づくり、特産品の開発、販売に至るまで、住民自らの起業意識を高め、自立していける仕組みづくりのアドバイスをしています。

■問い合わせ先

雇用対策課 ☎32-11111
(内線1317・1318)

これから、斉藤俊幸さんを見かけられたらぜひ声を掛けてください、いろいろなものづくりアイデアをお持ちです。お話を聞いていくうちに、自分でもやれそうな気持ちになってきますから・・・皆さんも、ぜひ新しいビジネスにチャレンジしてみよう!

宇城市には、7月末から、市内の空き店舗に住み込み、5町を回ってそれぞれに地域住民の活動拠点をつくり、地元の方々と一緒になってアイデアを出し合い、地域の特産品を活かした、新たな食産業ビジネスの基を作っていきたいと考えています。
斉藤さんは「自分たちなりのアイデアや仕組みで、利益が得られる構造をつくつて作ることができれば、新たな雇用も生まれ、若者も帰ってこられるかもしれない。このような取り組みは、もう農家の人たちが自主的にやっている地域もあるかもしれませんが、これを宇城市全体に広げていくことが大事だと思います。」と、覚えたての熊本弁で話されました。



市長賞「冬のソナタ」(寺町)

今年も力作が勢ぞろい!

小川阿蘇神社 夏祭り造り物大会

7月15日、小川町の伝統行事「小川阿蘇神社夏祭り造り物大会」が小川町商店街を中心に開催されました。町商店街振興会(栗崎清会長)主催。今年は、台風4号の影響で、開催自体が危ぶまれましたが、この日は雨もピタリと止み、午後5時30分、商店街が歩行者天国になるころには多くの人出でにぎわいました。

大会には、今年も各地区や町内の事業所などが発砲スチロールや段ボールなどの廃材を使って製作したアイデアあふれる力作19基が揃いぶみ。そのほか、夜市やハワイアンショー、ダーツゲーム大会などもありました。



熊日賞「築城四百年 加藤清正虎退治」(肥後銀行)



市議会議長賞「夏休みもっと自然を楽しもう!」(新町A)

